

# 宮崎市政モニター

令和2年度第1回アンケート集計結果

(令和2年7月実施分)

## 第1回アンケート

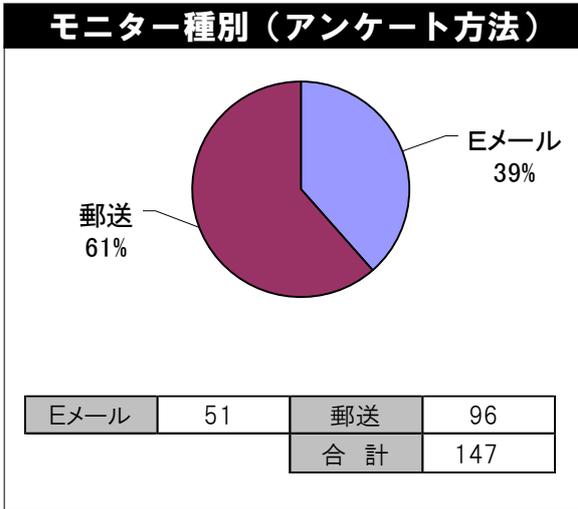
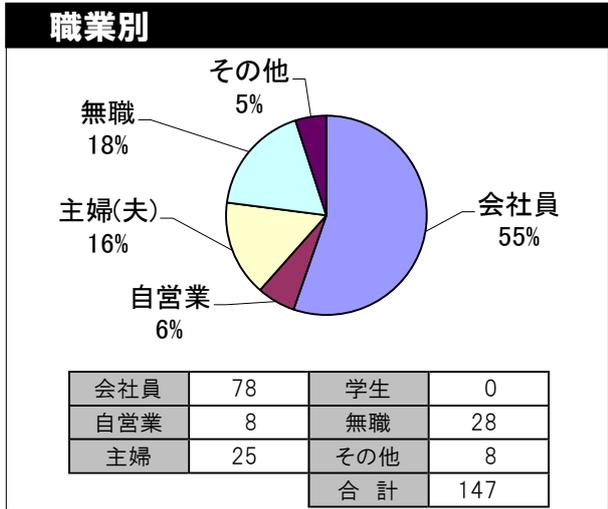
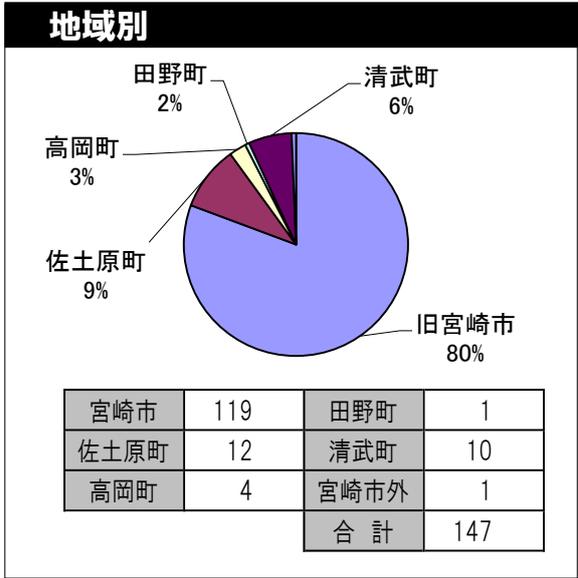
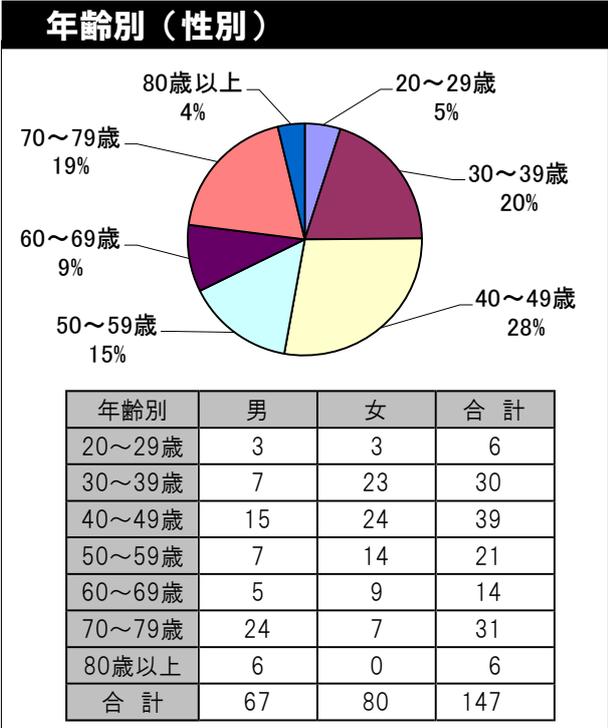
- |                        |     |
|------------------------|-----|
| ① 公立公民館等に関するアンケート調査    | … 3 |
| ② 市役所本庁舎の利用に関するアンケート調査 | … 9 |
| ③ 地域コミュニティに関する市民意識調査   | …14 |

宮崎市秘書課広報広聴室

# 令和2年度 第1回宮崎市政モニターアンケート調査概要

(1)調査担当課	①教育委員会 生涯学習課 ②総務部 管財課 ③地域振興部 地域コミュニティ課
(2)活動内容	①公立公民館等に関するアンケート調査 ②市役所本庁舎の利用に関するアンケート調査 ③地域コミュニティに関する市民意識調査
(3)調査期間	令和2年6月26日～令和2年7月10日 ※終了後も一定期間回収
(4)送付数	161人(郵送モニター101人、e-モニター60人)
(5)回答数	147人(郵送モニター96人、e-モニター51人)      回答率:91%

## モニター属性（回答者）



## 公立公民館等について 集約結果

### ◆調査の目的

生涯学習の拠点となる公共施設である公立公民館等の利用状況等に関する調査を実施し、公民館環境を充実させるための施策を検討する。

### ◆調査の概要

- |          |                 |             |
|----------|-----------------|-------------|
| (1)調査期間  | 令和2年6月29日～7月10日 | ※終了後も一定期間回収 |
| (2)モニター数 | 161人            |             |
| (3)回答数   | 147人            | (91.3%)     |
| (4)担当課   | 教育委員会           | 生涯学習課       |

### ◆調査結果考察

#### 1. 公立公民館等の利用状況について

・問1で過去3年の間に公立公民館等を利用したことのない人が40%を越しており、その理由として「利用する目的(利用したい内容)がないから」が一番多く、次が、「公立公民館等が何をしているのか分からなかったから」となっている。公民館の活動状況を積極的に発信していくとともに、市民の皆さんが参加したくなるような魅力ある講座の工夫・改善に取り組む必要がある。

・問9の「あなたが足を運びたいのは、どんな公立公民館等ですか。」では、「明るく笑顔で対応してくれる職員がいる。」が、第1位で、第2位が、「土曜日や日曜日も講座やイベントを実施している。」であった。また、公民館等のイメージとして暗い雰囲気があるという意見もあり、窓口対応のあり方や土日のイベントの実施についても検討・改善していく必要がある。

### ◆調査結果まとめ

アンケートの結果を受け、公立公民館等の施設や講座等の充実を図るとともに生涯学習情報の積極的な発信など市民のニーズに応えた施設運営の工夫・改善に努める。

## ◎調査結果

集計結果の数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、比率の合計が100%を超える。

問1 あなたの地区の公立公民館等を過去3年(平成30年～令和2年)の間に利用したことがありますか。

選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 利用したことがある。	85	57.8	
2 利用したことがない。	62	42.2	
計	147	100	0 25 50 75 100%

問2 【問1で「1 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】(85)名

あなたが、公立公民館等を利用する頻度はどのくらいですか。当てはまるものを1つ選んでください。

選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 ほぼ毎日	0	0	
2 週に2～3回程度	2	2.4	
3 週に1回程度	17	20	
4 一ヶ月に1回程度	24	28.2	
5 半年に1回程度	22	25.9	
6 年に1回程度	20	23.5	
計	85	100	0 25 50 75 100%

問3 【問1で「1 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】(85)名

あなたが、公立公民館等を利用するときは、どのような利用が多いですか。

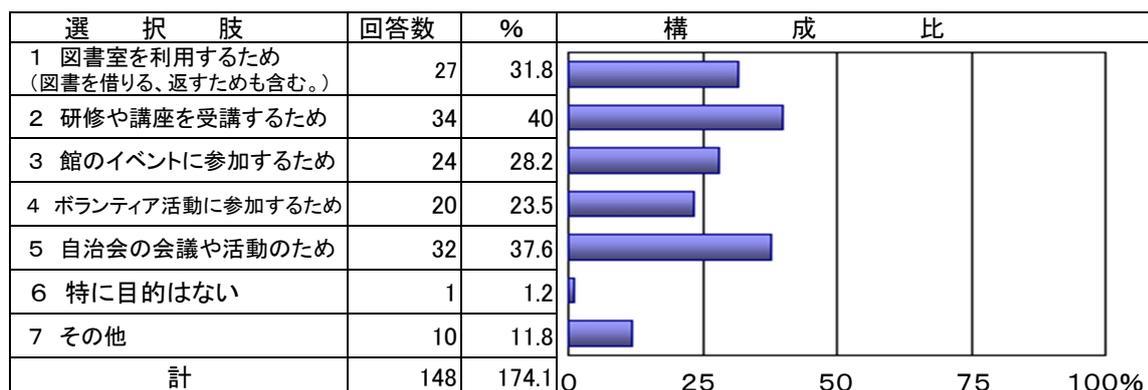
選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 自分ひとりで	23	27.1	
2 自主グループで (習い事のグループで)	22	25.9	
3 自治会で	21	24.7	
4 地域の団体で(婦人会等)	19	22.4	
5 その他	14	16.5	
計	99	116.6	0 25 50 75 100%

○その他のご意見

\* 保育園の発表会で、選挙の投票で、中学校部活動の集まりで、仕事の研修等で、 など

問4 【問1で「1 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】(85)名

あなたは、公立公民館等をどのような目的で利用されていますか。  
 当てはまるものすべてを選んでください。

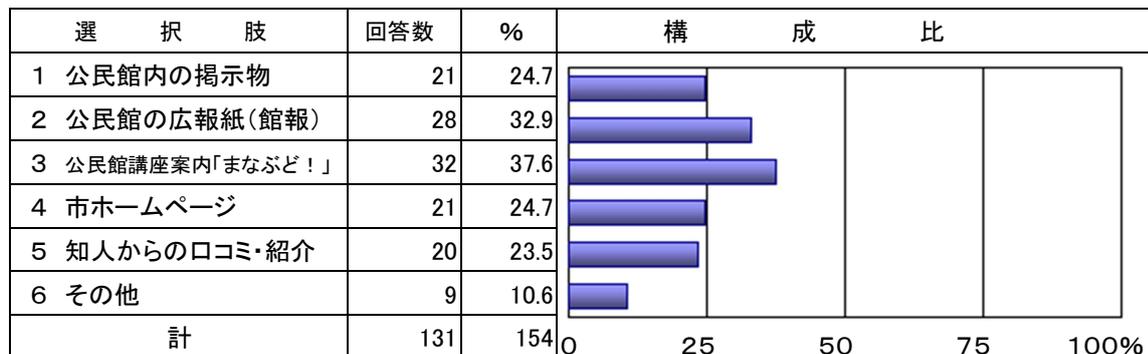


○その他のご意見:

\* 地域の懇親会活動のため、遊戯室で遊ぶため、選挙の投票のため、民生児童委員会議のため、  
 放課後子ども教室推進事業の活動を行うため、保育園の発表会を見るため、 など

問5 【問1で「1 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】(85)名

あなたは、公立公民館等の講座やイベント等の情報をどのようにして知りましたか。  
 当てはまるものすべてを選んでください。

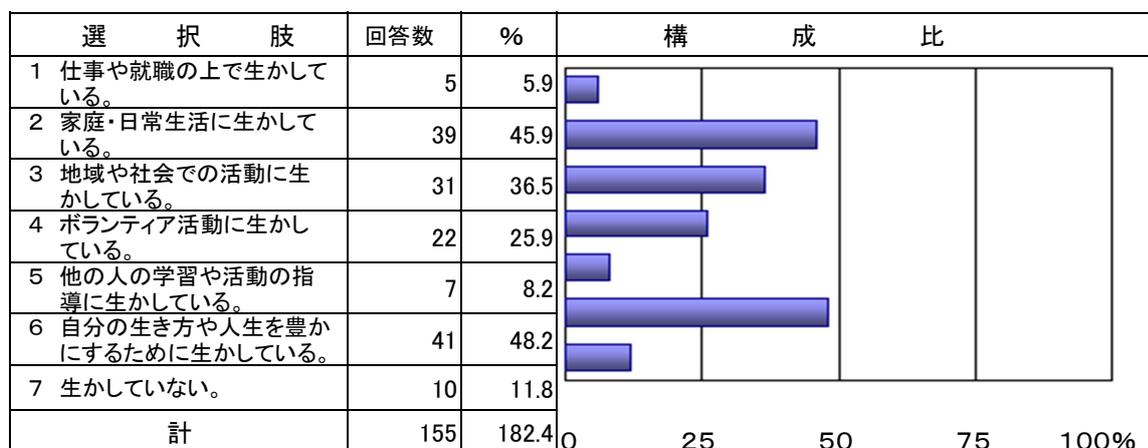


○その他のご意見

\* 学校からの案内、市広報紙、自治会の回覧、選挙のハガキ、 など

問6 【問1で「1 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】(85)名

あなたは、公立公民館等で学び身に付けた知識や技能をどのように生かしていますか。  
 当てはまるものすべてを選んでください。



問7 【問1で「2 利用したことがない」と回答した方にお伺いします。】(62)名

あなたが、公立公民館等を利用したことがない理由は何ですか。当てはまるものすべてを選んでください。

選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 地域に公立公民館があるのを知らなかったから	8	12.9	
2 公立公民館が何をしているのか分からなかったから	14	22.6	
3 利用する目的(利用したい内容)がないから	45	72.6	
4 利用しづらいから(利用規定や時間帯など)	7	11.3	
5 利用する時間がないから	9	14.5	
6 その他	7	11.3	
計	90	145.2	0 25 50 75 100%

○その他のご意見

\* 使用するには遠いから、地区の公民館がないから、利用方法が分からないから、 など

問8 もし、あなたが公立公民館等の講座やイベントに参加するとしたら、どのような内容の講座やイベントに参加したいですか。当てはまるものすべてを選んでください。

選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 教養講座(文学・歴史・科学等)	65	44.2	
2 趣味教室(調理・絵画・園芸等)	82	55.8	
3 スポーツ教室	54	36.7	
4 公民館祭り	45	30.6	
5 福祉祭り	36	24.5	
6 その他	12	8.2	
計	294	200	0 25 50 75 100%

○その他のご意見

\* 消費生活に関する講座、防災訓練講話、子どもと遊ぶような講座、今後の生活や健康維持等に関する講座、 など

問9 あなたがより足を運びたいくなるのは、どんな公立公民館等ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選 択 肢	回答数	%	構 成 比
1 明るく笑顔で対応してくれる職員がいる。	67	45.6	
2 図書が充実している。	58	39.5	
3 地域の情報を交換できるような場所がある。	44	29.9	
4 乳幼児連れの親子など子育て中の親子が集える場所がある。	29	19.7	
5 照明やトイレなど館内の設備が充実している。	51	34.7	
6 中高生向けの講座やイベントが充実している。	17	11.6	
7 高齢者向けの講座やイベントが充実している。	39	26.5	
8 障がいのある方向けの講座やイベントが開催されている。	6	4.1	
9 土曜日や日曜日も講座やイベントを実施している。	66	44.9	
10 その他	9	6.1	
計	386	262.6	0 25 50 75 100%

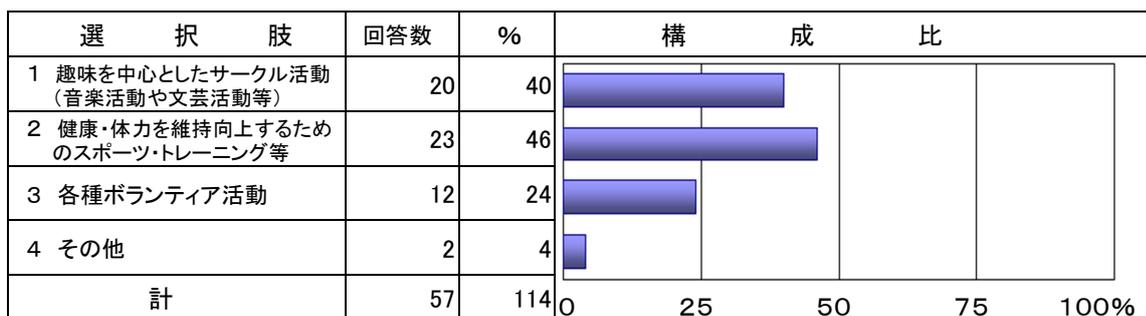
○その他のご意見

\* 図書コーナーの片隅などにちょっとしたカフェがある公民館、自習室のある公民館、単身者や子供のいない夫婦が参加できイベントが充実している公民館、駐車場が十分に確保されている公民館、継続でなく単発の講座やイベントがある、 など



問13 【問12で「1 している」と回答した方にお伺いします。】

あなたは、どんなサークル活動や習い事をしていますか。主なものを1つ選んでください。

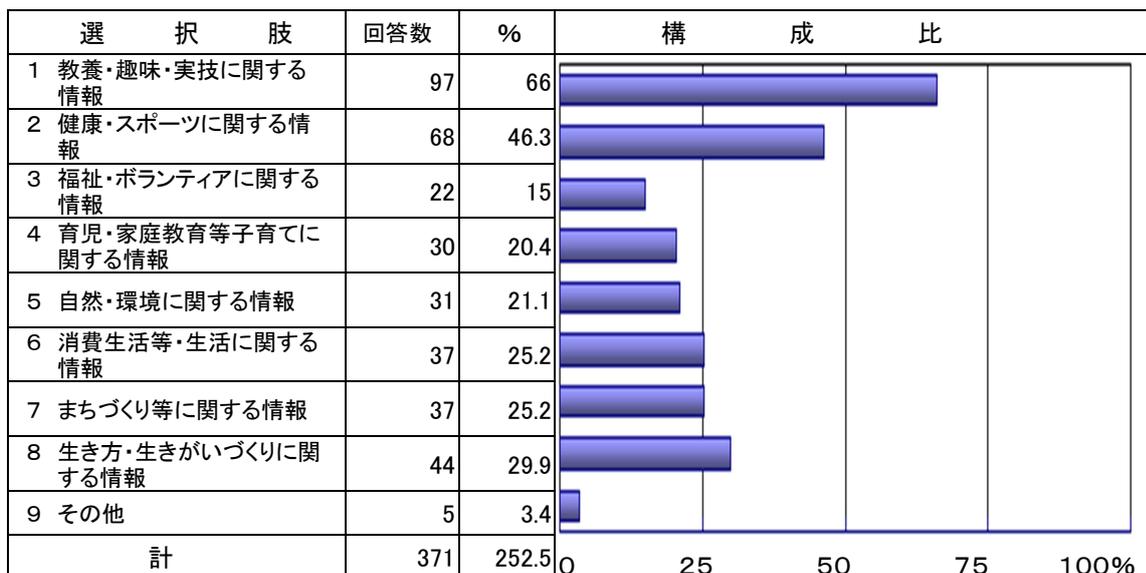


○その他のご意見

\* 地域包括センター主催のサロン、放課後子ども教室のサポーター、 など

問14 あなたが、今後学習をしようとする際にどんな情報が必要ですか。

当てはまるものすべてを選んでください。

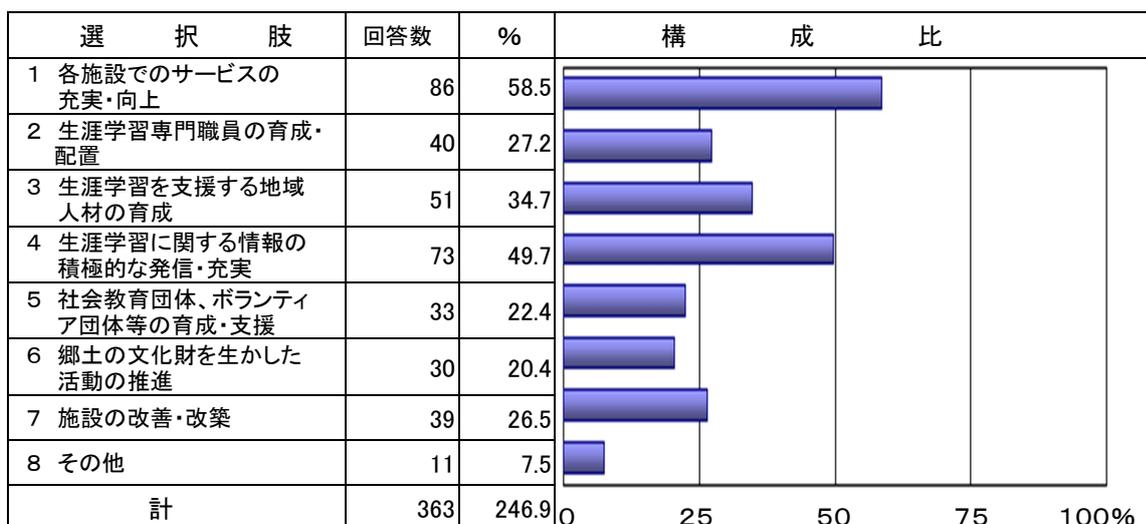


○その他のご意見

\* 資格取得に関する情報、防災・減災に関する情報、パソコン操作に関する情報、 など

問15 あなたは、今後いつでも、どこでも楽しく学べるように宮崎市は何に取り組むべ

きだと思いませんか。当てはまるもの3つを選んでください。



○その他のご意見

\* 公民館等施設(特にマイク、音響の改善)、人材は後からでいいと思いますので、箱物の整備の必要性を感じます。いつでもということ考えると、夜間や土日のイベントや講座等学習機会の提供の充実。公園を利用した民間事業の参入。 など

## 市役所本庁舎の利用に関するアンケート 集計結果

### ◆調査の目的

本庁舎は、昭和 38 年の建築後 56 年が経過し、老朽化と狭あい化進行しているため、今後の庁舎のあり方を検討していく必要があり、今後、庁舎のあり方を検討していく上で、市民の方々の意見を反映させていくため、意識調査を行い参考資料とするものである。

### ◆調査の概要

- (1) 調査期間 令和 2 年 6 月 26 日～令和 2 年 7 月 10 日 ※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 161 人
- (3) 回答者数 148 人 (回答率 91.93%)
- (4) 担当課 総務部管財課

### ◆調査結果考察

【問 1～3】来庁頻度としては「ほとんど行かない」が最も多く、交通手段としては「自家用車」が最も多く、約 8 割を占める結果であった。また、来庁の目的としては、「手続き関係」が約 75%を占め、それに伴い、最も多く訪問する場所としては、「本庁舎」が約 7 割を占める結果であった。

【問 4】これからの市役所に求めるものとしては、「ひとつの窓口で、全ての用事を済ませることができる」が一番多く、続いて「災害からの復旧、復興を図る防災拠点施設としての機能を有している」、「駐車場や駐輪場にゆとりがある」という結果であった。

【問 5～6】新庁舎の場所は、「移転して建替える」が過半数を占める結果であり、エリアは「宮崎駅周辺」が最も多い結果であった。

【問 7】「その他」が最も多く約 6 割を占め、ほとんど立ち寄らないという結果であった。

【問 8～9】立ち寄る場所としては、最も多かったのは「食事のできる店」であり、続いて「スーパー」、「百貨店」であり、そのエリアとしては「橘通周辺」が最も多く、約 7 割を占める結果であった。

【問 10】滞在時間の平均は 1.6 時間、消費金額の平均は 3,739 円であった。

【問 11～12】「変わらない」、「増えない」という回答が最も多く、新庁舎建設後も大きく行動に変化が見られないようであった。

【問 13～14】立ち寄る場所としては、最も多かったのは「食事のできる店」であり、続いて「スーパー」、「カフェ」と、新庁舎建設後も大きく行動に変化が見られなく、立ち寄り回数の増加としては、「月 1 回程度増える」と「年 2 回程度増える」が約 2 割ずつ占める結果であった。

【問 15】滞在時間の平均は 2.0 時間、消費金額の平均は 4,009 円増えるという結果であった。

【問 16】新庁舎建設後も移動手段は、「変わらない」という結果が約 6 割を占める結果であった。

### ◆調査結果まとめ

アンケートの結果を受け、新庁舎建設のエリアに対するご意見や新庁舎に求める機能など、今回、市民の皆様から頂いたご意見を、今年度、新庁舎建設エリアを選定していく上での重要な資料とし、検討を深めていくように努めていく。

## ◎調査結果

集計結果の構成比(%)は、全回答数で割合を出している質問もあり、比率合計が100%にならない場合がある。

### 1. 基本的なこと（訪問目的等）について、おうかがいします。

問1 最近、2年間にどれくらいの頻度で市役所(本庁舎～第四庁舎)を訪問していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 週1回以上	5	3.38%
2 月2回程度	8	5.41%
3 月1回程度	8	5.41%
4 2ヶ月に1回程度	10	6.76%
5 年2回程度	35	23.65%
6 年1回程度	29	19.59%
7 ほとんど行かない(数年に1回程度)	53	35.81%
8 その他	0	0.00%

問2 市役所を訪問する際の交通手段で、よく利用するものは何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 自家用車(保護者運転のものを含む)	124	84.35%
2 バス	5	3.40%
3 タクシー	0	0.00%
4 電車	0	0.00%
5 バイク	1	0.68%
6 自転車	11	7.48%
7 徒歩	6	4.08%
8 その他	0	0.00%

問3 市役所を訪問する際に最も多い目的と最も多く訪問する場所(市民窓口、課名等)を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

#### <最も多い目的>

選択肢	回答数	構成比(%)
1 手続き関係(住民票、福祉、保険・年金、市税 等)	122	75.78%
2 会議・打合せ等への参加	23	14.29%
3 イベント等への参加	11	6.83%
4 その他	5	3.11%

#### <最も多く訪問する場所>

選択肢	回答数	構成比(%)
1 本庁舎(市民課、議会事務局、秘書課 等)	110	68.32%
2 第二庁舎(国保年金課、環境業務課 等)	31	19.25%
3 第三庁舎(市民税課、資産税課 等)	17	10.56%
4 第四庁舎(農業振興課、建築住宅課 等)	3	1.86%

## 2. 本庁舎のあり方について、おうかがいします。

問4 これからの市役所に求めるものを教えてください。あてはまるもの上位3つを選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 災害からの復旧、復興を図る防災拠点施設としての機能を有している	64	15.20%
2 ひとつの窓口で、全ての用事を済ませることができる	85	20.19%
3 駐車場や駐輪場にゆとりがある	61	14.49%
4 高齢者、障がい者、子どもなど全ての人が利用しやすい	42	9.98%
5 市民が休める、憩えるスペースがある	16	3.80%
6 市民活動等の利用できるスペースがある	16	3.80%
7 交通の利便性が高い	40	9.50%
8 売店などが充実している	7	1.66%
9 太陽光発電などを備えるなど地球環境に優しい	14	3.33%
10 建物が周辺の景観と調和している	6	1.43%
11 市民が誇ることのできるまちのシンボルである	19	4.51%
12 市民や観光客が分かりやすい情報を受け取ることができる	18	4.28%
13 より利便性の高い機能を備え、収益性が高い庁舎である	14	3.33%
14 職員にとっても働きやすい	9	2.14%
15 その他	10	2.38%

問5 現地で建て替えるか、移転するか、どちらがいいと思いますか。  
あてはまるものを1つを選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 移転して建替える	80	54.05%
2 現地で建替える	44	29.73%
3 どちらともいえない	24	16.22%

問6 移転して建替える場合、どのエリアがいいと思いますか。  
あてはまるものを1つを選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 橋通周辺	11	13.75%
2 宮崎駅周辺	36	45.00%
3 中村町周辺	10	12.50%
4 南宮崎駅周辺	23	28.75%

## 3. 現在の市役所訪問前後の行動について、おうかがいします。

問7 現在、市役所への来庁時に、市役所近くの他の商業施設などへ立ち寄ることはありますか。あてはまるものを1つを選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 ほぼ毎回立ち寄る	11	7.48%
2 半分程度立ち寄る	16	10.88%
3 時々立ち寄る(5回に1回程度)	25	17.01%
4 その他( 回に1回程度・立ち寄らない)	95	64.63%

問8 どのような場所に立ち寄りますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 スーパー	21	18.26%
2 百貨店	18	15.65%
3 カフェ	9	7.83%
4 食事のできる店	26	22.61%
5 市民プラザ	12	10.43%
6 映画館	1	0.87%
7 アートセンター	13	11.30%
8 商店街	10	8.70%
9 その他	5	4.35%

問9 【問8】で選んだ場所は、どこのエリアにありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 橋通周辺	45	71.43%
2 宮崎駅周辺	11	17.46%
3 中村町周辺	4	6.35%
4 南宮崎駅周辺	3	4.76%

問10 立ち寄りの場所でののおおよその滞在時間・消費金額を教えてください。

滞在時間(平均)	消費金額(平均)
1.6 時間	3739 円

#### 4. 今後の市役所訪問前後の行動について、おうかがいします。

問11 市役所本庁舎が建替えにより、利便性が変化し、交流スペースなどができたとしたら、市役所本庁舎を訪問する回数はどのくらい増えると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 週1回以上増える	4	2.70%
2 月2回程度増える	19	12.84%
3 月1回程度増える	23	15.54%
4 年2回程度増える	29	19.59%
5 年1回程度増える	10	6.76%
6 変わらない	63	42.57%

問12 市役所本庁舎が建替えられた場合、市役所本庁舎での用事の前後に、買い物など、市役所近くで立ち寄る場所が増えると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 増える	56	37.84%
2 増えない	92	62.16%

問13 どんな場所に立ち寄りたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 スーパー	49	18.22%
2 百貨店	37	13.75%
3 カフェ	43	15.99%
4 食事のできる店	73	27.14%
5 市民プラザ	15	5.58%
6 映画館	12	4.46%
7 アートセンター	17	6.32%
8 商店街	21	7.81%
9 その他	2	0.74%

問14 おおよそどの程度の回数が増えると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 週1回以上増える	9	8.49%
2 月2回程度増える	18	16.98%
3 月1回程度増える	26	24.53%
4 年2回程度増える	24	22.64%
5 年1回程度増える	13	12.26%
6 変わらない	16	15.09%

問15 立ち寄りが増える場合、おおよその滞在時間・消費金額はどの程度増えると思いますか。

滞在時間(平均)	消費金額(平均)
2.0 時間	4009 円

問16 今後、現在の移動手段から、他の移動手段に変えると思いますか。  
あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比(%)
1 自家用車(保護者運転のものを含む)	4	2.70%
2 バス	33	22.30%
3 タクシー	0	0.00%
4 電車	3	2.03%
5 バイク	0	0.00%
6 自転車	10	6.76%
7 徒歩	4	2.70%
8 その他	2	1.35%
9 変わらない	92	62.16%

## 地域コミュニティに関する市民意識調査 集計結果

## ◆ 調査の目的

本市では、地域自治区制度の下、地域のまちづくりを進めているが、その中心を担っているのは、地域住民の意見を調整し、市政に反映させる「地域協議会」と、地域のまちづくり活動を行う「地域まちづくり推進委員会」であるため、これらの認知度などを調査することにより、今後のまちづくり活動の参考とするものである。

## ◆ 調査の概要

- |           |                       |             |
|-----------|-----------------------|-------------|
| (1) 調査期間  | 令和2年6月26日 ~ 令和2年7月10日 | ※終了後も一定期間回収 |
| (2) モニター数 | 161人                  |             |
| (3) 回答者数  | 147人                  | (回答率 91.3%) |
| (4) 担当課   | 地域振興部                 | 地域コミュニティ課   |

## ◆ 調査結果考察

【問1】の「地域活動への参加」については、78.9%の方が何らかのまちづくり活動に対して参加しているという結果だった。

【問2】の「参加動機」としては、「自治会などの地域団体からの依頼」が50.0%と最も多く、2番目に「自主的な参加」、3番目に「子どもや家族のために」が続き、まちづくり活動の参加者のうち、約半数の方が自主的に参加していることが分かった。

【問3】の「地域活動に参加したことがない」と回答した21.1%の方の「参加していない理由」としては、「地域活動を知らなかったから」が51.6%と最も多く、2番目が「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから」という結果であった。地域活動の周知、活動の日程や時間帯等を検討していく必要がある。

【問4】の「どのようなことがあれば地域活動に参加したいか」に対しては、「内容」「時間や日程」に関する意見が多く、「子どもと一緒に参加できる活動や土日の活動を増やして欲しい」「地域住民と交流が持てる活動があるといい」などがあり、地域住民とのつながりが深められる活動を求めている。

【問6】～【問7】より「地域協議会」については、「役割まで知っている」という方は31.3%で、昨年度よりも2.2ポイント増加しているが、「聞いたことがない」という方は26.5%で、昨年度よりも12.3ポイント増加した。また、「地域協議会での協議内容や決定事項など」については、「見たことがある」という方が71.4%で、昨年度より0.9ポイント減少した。市広報紙やホームページ等の様々な手段により、地域協議会の役割を含めて、周知していく必要がある。

【問8】～【問9】の「地域魅力発信プラン」については、「知っている」が34.0%で、昨年度よりも5.6ポイント増加し、66.0%の方が「知らない」という結果となった。知ったきっかけは、ほとんどの方が「地域協議会だより」や「自治会での回覧」と回答している。プランを広く周知するため、その他の媒体の活用や広報の方法を検討する必要がある。

【問10】～【問11】の「地域のお宝発掘・発展・発信事業」については、32.7%の方が「知っている」と回答しており、昨年度よりも2.3ポイント増加した。しかし、67.3%の方が「知らない」と回答しているため、今後も事業内容を幅広く周知できるよう、広報にも工夫が必要である。

【問12】～【問16】の「地域まちづくり推進委員会」については「活動内容まで知っている」という方が25.2%で、昨年度よりも3.2ポイント減少し、「参加したことがある」という方が21.1%で、昨年度よりも3.2ポイント減少した。また、地域まちづくり推進委員会が発行する広報紙やチラシについては、55.1%の方が「見たことがある」と回答しており、昨年度より4.4ポイント減少している。いずれも減少しているため、活動について興味を持ってもらう工夫や様々な媒体を活用することで、認知度を高めていく必要がある。

【問17】の「地域の課題」については、「防災」についての意見がもっとも多く、「防犯」「環境」「地域の親睦」「教育」「地域福祉」が続いている。特に、「防災訓練」「子どもの見守り」「地域住民同士の交流」は、自治会や地域まちづくり推進委員会が主に取り組んでいる事業であるため、重点的な課題として取り組むべき事項と考えられる。

【問18】のまちづくりを発展させるための取組としては、「多くの人の意見が反映し、新しいことに挑戦することが必要である」や「まちづくりの事業は、10年以上経過したものもあるため、見直しが必要な時期だと思う」など、住民のニーズや地域の課題を把握し、地域の多様な主体が連携して取り組む必要があると考えられる。

## ◆ 調査結果まとめ

前年度と比較して、「地域協議会」や「地域まちづくり推進委員会」の活動の認知度、地域活動への参加者の割合が低い結果となった。また、「地域のお宝発掘・発展・発信事業」の認知度についても、昨年度よりも低くなっているため、事業を周知し、活動の継続性を高めていく必要がある。

また、地域の課題として、役員の高齢化や活動のマンネリ化など、人口減少や高齢化社会に起因することが挙げられている。住民ニーズや地域の課題が多様化しているため、事業の企画や広報を検討し、若い世代をはじめ、広く住民を巻き込みながら、まちづくりを展開していく必要がある。

## ◎ 調査結果

集計結果の数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、比率の合計が100%を超える。

### 1. あなた自身のまちづくり活動に関して、おうかがいします

問1 地域の活動に参加したことがありますか。  
※地域の活動・・・地域清掃や地域の防災訓練、運動会、自治会活動、子ども会活動など

選択肢	回答数	構成比
1 参加したことがある	116	78.9%
2 参加したことがない	31	21.1%
計	147	100%

問2 【問1で「1 参加したことがある」と答えた方に質問します】（複数回答可）  
地域の活動に参加した動機（きっかけ）は何ですか。

選択肢 (回答者数 147人)	回答数	構成比
1 自主的に参加した	56	48.3%
2 家族のすすめ・誘いがあったから	13	11.2%
3 知人や友人からのすすめ・誘いがあったから	8	6.9%
4 子どもや家族のために	35	30.2%
5 自治会などの地域団体から依頼があったから	58	50.0%
6 職場から依頼があったから	8	6.9%
7 その他	8	6.9%
計	186	-

○「その他」の主なご意見

- ・ 地域住民としての義務だと思っているから。
- ・ 地域の方々とのコミュニケーションを取らなければならないと思ったから。
- ・ 自治会から依頼があったから。

問3 【問1で「1 参加したことがない」と答えた方に質問します】（複数回答可）  
地域の活動に参加していない理由は何ですか。

選択肢（回答者数 21人）	回答数	構成比
1 地域活動を知らなかったから	16	51.6%
2 地域活動に参加したいと思わないから	2	6.5%
3 地域活動に参加しなくても生活に支障がないから	8	25.8%
4 いずれ今の住所から転居するつもりだから	0	0.0%
5 仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから	11	35.5%
6 自分や家族のプライベートの時間を大切にしたいから	5	16.1%
7 その他	6	19.4%
計	48	-

○「その他」の主な意見

- ・ 年齢的に積極的に活動に参加するのは難しいから。
- ・ 自治会や子供会に加入したいが、マンションのほぼ全戸が加入していないから。

問4 どのようなことがあれば地域活動に参加したいと思いますか。（自由記述）  
※現在の地域活動に対する改善策でも構いません。

（主なご意見）

【内容に関する意見：38件】

- ・ 子供と一緒に参加できる活動。
- ・ 健康を目的としたスポーツ大会があると参加しやすい。
- ・ 避難訓練や風水害訓練など、防災関係の活動。
- ・ 日常生活に関係する環境や福祉等の活動。
- ・ 地域住民の交流が持てる懇親会やレクリエーション等。

【知人等の誘い：7件】

- ・ 知人等からの案内があれば参加する。
- ・ 同年代が多く参加するイベントがあれば参加したい。

【情報に関する意見：4件】

- ・ いろいろなイベント等を開催する時に地域活動などの説明をするといい。
- ・ 広報紙でもっとPRして欲しい。
- ・ 広報活動などでもっとアピールして欲しい。知る機会が少なすぎる。

【時間や日程に関する意見：14件】

- ・ 就労者には平日の参加は難しい。地域活動には地域の絆を深めるためにも参加したいと思っているので、土日の活動を増やして欲しい。
- ・ 時間に余裕がある時に、無理せず、強制せず、自由に参加できよう、気軽に呼びかけて欲しい。

【参加したくない：4件】

- ・ 夏まつりなどは、負担があるので参加したくない。
- ・ 不必要な顔見知りを増やしたくない。

【その他（地域活動に関する意見など）：26件】

- ・ 役が大変でなければ、参加してみたい。

## 2. 地域自治区について、おうかがいします

問5 ご自身がどの地域自治区に住まわれているかご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	134	91.2%
2 知らない	13	8.8%
3 無回答	0	0.0%
計	147	100%

## 3. 地域協議会について、おうかがいします

問6 各地域自治区には、地域住民の意見を市政に反映させるための組織である「地域協議会」が設置されています。地域協議会をご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
1 役割まで知っている	46	31.3%
2 役割などは知らないが、聞いたことがある	62	42.2%
3 聞いたことがない	39	26.5%
4 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問7 地域協議会では、地域協議会だよりなどの広報で、協議内容や決定事項などをお知らせしています。ご覧になったことはありますか。

選択肢	回答数	構成比
1 見たことがある	105	71.4%
2 見たことがない	42	28.6%
3 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問8 地域自治区ごとに、地域協議会等が主体となって、地域まちづくりの将来像を明確にするために「地域魅力発信プラン」を作成しました。「地域魅力発信プラン」が策定されたことはご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	50	34.0%
2 知らない	97	66.0%
3 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問9 【問8で「1 知っている」と答えた方に質問します】（複数回答可）この「地域魅力発信プラン」を知ったきっかけは何ですか。

選択肢（回答者数 39人）	回答数	構成比
1 地域協議会だより	35	70.0%
2 新聞折込(チラシ)	0	0.0%
3 自治会での回覧	33	66.0%
4 家族や知人、友人からの情報	0	0.0%
5 その他	8	16.0%
計	76	-

○「その他」の主なご意見

- ・ 広報紙。
- ・ ホームページ。

問10 地域魅力発信プランの実現を促進し、各地域自治区における地域資源である「お宝」の磨き上げや発信、並びに、住みよく誇りと愛着を持った地域づくりを推進するため、「地域お宝発掘・発展・発信事業」を実施しておりますがご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	48	32.7%
2 知らない	99	67.3%
3 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問11 【問10で「1 知っている」と答えた方に質問します】（複数回答可）  
この「地域お宝発掘・発展・発信事業」を知ったきっかけは何ですか。

選択肢（回答者数 44人）	回答数	構成比
1 市の広報紙	24	50.0%
2 市のホームページ	3	6.3%
3 地域協議会だより	25	52.1%
4 自治会での回覧	24	50.0%
5 家族や知人、友人からの情報	2	4.2%
6 その他	4	8.3%
計	82	-

○「その他」の主なご意見

- ・ これからの事業展開に期待している。

#### 4. 地域まちづくり推進委員会について、おうかがいします。

問12 各地域自治区には、地域協議会と連携してまちづくり活動に取り組む「地域まちづくり推進委員会※」が組織されています。地域まちづくり推進委員会をご存知ですか。

※地域によっては、地区振興会や地域づくり協議会、地域まちづくり協議会などの名称で組織されています。

選択肢	回答数	構成比
1 活動内容まで知っている	37	25.2%
2 活動内容は知らないが、聞いたことがある	67	45.6%
3 聞いたことがない	43	29.3%
4 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問13 地域まちづくり推進委員会が行う行事（地域コミュニティ活動交付金※を活用した事業）などに参加したことはありますか。

※地域自治区の特色を活かしたまちづくりを展開するため、地域課題の解決に向けた活動に必要な財源として、1地区あたり200万～700万円が毎年市から交付される。

選択肢	回答数	構成比
1 参加したことがある	31	21.1%
2 参加したことがない	114	77.6%
3 無回答	2	1.4%
計	147	100%

○主な活動内容

- ・ 「子育て語ろう会」「子ども会活動」などの子育てに関する活動。
- ・ 「歩こう会」「ラジオ体操会」「福祉まつり」などの健康福祉に関する活動。
- ・ 「防災訓練」「救急・救命講習」などの防災・防犯に関する活動。

問14 地域まちづくり推進委員会が発行する広報紙やチラシ（地域コミュニティ活動交付金を活用した事業のお知らせ）などを ご覧になったことはありますか。

選択肢	回答数	構成比
1 見たことがある	81	55.1%
2 見たことがない	66	44.9%
3 無回答	0	0.0%
計	147	100%

問15 市では、一人でも多くの方々が地域のまちづくり活動に気軽に参加していただけるよう、「宮崎市地域まちづくりサポーター」を募集しています。「宮崎市地域まちづくりサポーター」をご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	56	38.1%
2 知らない	91	61.9%
計	147	100%

問16 【問15で「1 知っている」と答えた方に質問します】（複数回答可）  
この「宮崎市地域まちづくりサポーター」を知ったきっかけは何ですか。

選択肢（回答者数 51人）	回答数	構成比
1 市の広報紙	50	89.3%
2 市のホームページ・フェイスブック	10	17.9%
3 地域魅力発信プラン集	8	14.3%
4 新聞	0	0.0%
5 家族や知人、友人からの情報	4	7.1%
6 その他	3	5.4%
計	75	-

○「その他」の主なご意見

- ・ 交流センター内のパンフレット。

## 5. 地域の課題について、おうかがいします

- 問17 あなた自身が困っていることや、地域の皆さんで取り組んだら良いと思う地域の課題は何ですか。「内容」の欄には、その課題の具体的な内容をご記入ください。また、「解決策」の欄には、こうしたら解決するのではという方法がございましたら、ご記入ください。（複数回答可）

取り組むべき地域課題	回答数	構成比
防犯について（青色パトロールなど）	43	13.4%
防災について（地域防災訓練など）	46	14.3%
子育てについて（子育て相談会など）	29	9.0%
地域福祉について（高齢者ふれあい交流会、障がい者支援講座など）	30	9.3%
環境問題について（環境美化・エコ活動、自然保護観察会など）	38	11.8%
地域の親睦について（地域のまつりなど）	36	11.2%
地域の文化伝承について（伝統芸能など）	17	5.3%
地域スポーツの振興について（スポーツ大会など）	26	8.1%
教育について（地域と学校の連携、生涯学習教室など）	36	11.2%
その他	21	6.5%
合計	322	100.0%

### 分野別の地域の課題

#### 【防犯について：43件】

「子ども達の登下校時の見守りを強化して欲しい」「防犯灯が少なく暗い所がある」「不審者情報が伝わってこない」「高齢者の住まいの把握と見守りを増やして欲しい」など、安全への不安に関する意見が出されている。

その解決策として、「地域の方の協力による登下校時の見守りや青色防犯パトロールを強化する」「防犯灯の増設・LED化を進め、定期的に点検する」「パトロール時に不審者情報を放送する」「高齢者世帯リストを作成し、定期的に訪問する」などが挙げられている。

#### 【防災について：46件】

「家庭用の防災マニュアルを作成し、配付して欲しい」「防災訓練は実施しているが現実味に欠ける」「津波避難ビルの場所や利用方法が分からない」「避難場所が分からない」「災害時に手助けが必要な方が把握できていない」など、防災に対する意識の醸成を求める意見が出されている。

その解決策として、「ハザードマップや防災マニュアルを全戸に配付する」「自治会ごとに防災訓練を行ったり、隣接自治会と共同訓練を実施したりする」「防災士等の専門家を活用する」「避難場所が子供でも分かるような看板等を設置する」「高齢者等の避難行動要支援者をリスト化する」などが挙げられている。

#### 【子育てについて：29件】

「子どもから高齢者が集える場所や交流の機会、イベントがあるといい」「子育てについて相談できる場が欲しい」「子育てに関する施設を設置して欲しい」などの意見が出されている。

その解決策として、「地域住民が世代に関係なく集える場を提供したり、親子向けイベントを開催したりする」「保健師や教員OB等の地域の人材を活用した相談会や有識者による講演会を開催する」「NPOや民間団体が協働し、コミュニティ施設を運営する」などが挙げられている。

#### 【地域福祉について：30件】

「高齢者のふれあい会やサロン等の交流の場の提供が欲しい」「高齢者のほか、ひとり親や共働き家庭の子どもに食事の支援を行うとともに、ふれあいの場があるといい」「障がい者への支援は、知識や経験のある人がかかわるといい」などの意見が出されている。

その解決策として、「公民館等で交流の場を提供し、自治会等の協力のもと、声かけを行う」「子ども食堂のような食事の支援とふれあいの場をつくる」「無償によるボランティアではなく、活動を有償化し、責任をもって携わってもらう」などが挙げられている。

### 【環境問題について：38件】

「ゴミ出しの場所を知らない世帯がある」「ゴミの分別がうまくできていない」「地域による一斉清掃はあるが、花植えなどの環境美化活動が少ない」などの意見が出されている。

その解決策として、「実際にゴミの収集に携わっている方に分別の話を聞く」「ゴミ置き場にゴミの分別表示と収集日程、出し方の看板を設置する」「一斉清掃後に花植えを実施する」などが挙げられている。

### 【地域の親睦について：36件】

「地域のまつりが減っている」「親睦を深めたいが、共働きで地域活動に参加できない」「自治会未加入者が増えている」「自治会に入らないと行事に参加できない」などの意見が出されている。

その解決策として、「まつりの開催にあたっては、若い人の企画を取り入れる」「負担軽減のため、運営を事業者に委託する」「アパートに住んでいる人も自治会に加入できるようにする」などが挙げられている。

### 【地域の文化伝承について：17件】

「伝統芸能も神楽や踊り、唄、言い伝え（民話）などの継承がなされていない」「地域の伝統芸能を知る機会がない」「地域文化の情報が不足している」「新興住宅地で伝統芸能がない」などの意見が出されている。

その解決策として、「学校の授業で伝統芸能の体験や話を聞く機会を設け、お祭りなどで披露する」「市広報紙や様々なメディアを活用して発信する」「地域で新しい芸能をつくり、根付かせていく」などが挙げられている。

### 【地域スポーツの振興について：26件】

「各種スポーツ少年団等に対する支援が少ない」「地域のスポーツ大会の参加者が少ない」「スポーツ少年団は活動しているが、人間形成につながっていない」「公民館に出向かないと予約できない」などの意見が出されている。

その解決策として、「スポーツ少年団等へ施設を提供したり、優秀チームを表彰したりする」「地域を越えた大会や各地区対抗の大会を開催する」「指導者の研修会を開催する」「インターネットを活用した公民館の予約システムを構築する」などが挙げられている。

### 【教育について：36件】

「公民館講座の内容を充実して欲しい」「習ったことを単なる教養とするのはもったいない」「地域で自由に利用できる子どもの自習室がない」「夏休みなどの長期休暇に、地域で学習塾の運営して欲しい」などの意見が出されている。

その解決策として、「学識経験者等を講師に招き、専門分野の話を聞く」「実社会で生かせる学習内容にする」「公民館等を子どもの学習室として開放する」「教員OBなどの人材を活用し、地域で学習教室を運営する」などが挙げられている。

### 【その他：21件】

その他の課題として、「地域協議会や地域まちづくり推進委員会の委員の年代や性別に偏りがある」や「自治会未加入者が地域活動へ参加できるようにして欲しい」「市広報紙がマンションには届かない」などの意見が出されている。

その解決策として、「地域のまちづくりに若い世代をはじめ、幅広く人材がかかわるようにする」「自治会と自治会以外の団体（子ども会等）が連携して活動する」「広報紙を全戸配布する」などが挙げられている。

## 6. 最後に、おうかがいします。

問18 宮崎市のまちづくりを発展させていくためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたのご意見をお聞かせください。

### (主なご意見)

- ・ 地域の活動は、高齢者だけが行うものではなく、色々な人が力を合わせるべきである。多くの意見が反映され、参加できる仕組みを構築し、新しいことに挑戦することも必要である。
- ・ 稼ぐ仕組みづくりが、少子高齢化、人口減少を迎えている宮崎市には必要である。
- ・ 社会環境が変化する中、若い力は非常に重要であるので、出生率を上げる取組を行うべきである。
- ・ まちを作るのは、「人の力、人のつながり」だと思うので、繋がりたい人がつながれる仕組みの整備が必要である。
- ・ 公共交通インフラが脆弱すぎる。宮崎のような地方は、障がい者や子育て世帯、高齢者が車に依存しなくても暮らしやすいと思えるまちにしなければ発展はない。公共交通インフラの抜本的改善、分散した公共施設の集約、公園の再整備が必要だと思う。
- ・ 地域まちづくり推進委員会では、10年以上経過した事業があるので、見直しが必要な時期だと思う。子育てや高齢者に係る事業を展開すべきである。
- ・ 地域活動に携わるスタッフは、無償ではなく雇用する形を取り、若い人や子育て中の方も活動しやすい環境を整備する必要がある。
- ・ 地域団体は、無償によるボランティアではなく、有償にして、若い人や女性の参加を促すことが必要である。
- ・ まちづくりを発展させ、強靱にするには、多くのメンバーが参加することが大事である。昨今、災害が頻繁に起こっているので、地域だけでなく、会社や学校等で、防災に係る教育・研修を行い、地域コミュニティの認識を高めていく必要がある。取組の推進にあたって、会社や学校等の表彰制度を設けるなど、社会全体で機運を醸成する必要である。
- ・ 若い人が自治会に加入したくなるような取組は急務であり、繰り返しになっても自治会活動の周知をするべきだと思う。
- ・ 自治会役員の定年制の導入や事業の整理を行い、若いリーダーの活躍を促すべきである。
- ・ 自治会や地域まちづくり推進委員会の必要性を明確にすべきである。自治会の加入世帯で差が生じないように、自治会のあり方を考え直すべきだと思う。
- ・ 公民館等を活用して、地域住民の親睦を深められるよう、結束を固める交流会等が必要だと思う。
- ・ ニシタチがクローズアップされているが、周辺地域が賑わってこそ、市内全体が発展するのではないかと。中心部だけの投資はしないようお願いしたい。
- ・ 行政や民間がもっと協働するべきであり、職員のサポート力やパイプ役としての能力を高め、地域の特性を生かしたまちづくりに力を発揮して欲しい。
- ・ 地域と学校が連携し、不登校や勉強についていけない子ども達を対象に、学識経験者や教員OB、老人クラブ等の人材を活用し、学習、生活、言語、体育等の指導を行う場を作るといい。
- ・ 障がい者の方が住みやすく、生活しやすい環境をつくるため、バリアフリー化や施設の整備を進めるといい。